



2015年6月15日

各位

会社名：株式会社システム ディ
代表者：代表取締役会長兼社長 堂山 道生
(コード番号：3804)
問合せ先：取締役経営企画室長 藤田 雅己
電話：075-256-7777 (代)

平成27年10月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成26年12月15日に公表いたしました平成27年10月期第2四半期累計期間（平成26年11月1日～平成27年4月30日）の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成27年10月期第2四半期累計期間の業績予想との差異(平成26年11月1日～平成27年4月30日)

(1) 連結

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,342	119	113	68	21円00銭
当期実績(B)	1,450	210	206	130	40円20銭
増減額(B-A)	107	91	92	62	—
増減率(%)	8.0	77.1	81.3	91.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成26年10月期第2四半期)	1,294	235	229	160	49円50銭

(2) 個別

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,275	130	124	76	23円57銭
当期実績(B)	1,384	218	213	139	43円00銭
増減額(B-A)	108	88	88	63	—
増減率(%)	8.5	67.8	71.2	82.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成26年10月期第2四半期)	1,195	220	215	149	46円16銭

2. 差異の理由

当第2四半期累計期間は、主力事業である学園ソリューション事業において、学校法人新会計基準への制度変更に伴う需要が伸び、売上高が業績予想を上回りました。また、利益率の高い案件が相対的に多かったことに加えて、社内製造の推進やシステムエンジニアの案件対応力の向上に伴い製造コストを減少できたこともあり、営業利益、経常利益及び当期純利益が業績予想を大幅に上回りました。

なお、通期業績につきましては、下期に利益率の低い案件を予定していることや、公共向けビジネスにおける売上計上が自治体の年度末となる恐れもあることから、従来予想通りとさせて頂いております。

以上